

# 根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/2/25 実施)～

参加者: 6名

春の兆しを感じられるかなと期待していたが、朝から曇り空で何となく寒そうな様子。アシの茂みからは鳥の声が聞こえる。シジュウカラだ。そして田んぼの畦にはアオジが2羽戯れていた。カルガモは10羽あまり、池で遊んでいる。先月は凍っていた池も今日はたっぷり水をたたえている。そろそろアカガエルの卵塊がみられるはずだと目をこらすが、水が深いせいか見つからなかった。春になって小さなアカガエルの子供が草むらでピョンピョンはねるのを期待したいのだが、今年はどうだろうか。



少し渋みのある緑のムラサキケマン

鳥はカワウ、アオサギ、ムクドリ、スズメ、ツグミ、エナガ、コゲラ、ヒヨドリなどが見られた。散歩にきていた親子からカワセミがいると教えてもらう。川側にいた。アシの間にモズ（優しい顔のモズコさん）やぶの中にはウグイスも観察できた。ルリビタキは現れなかった。今日は散歩の人が多から、隠れているのだろうか。

地面は茶色一色に見えるが、そのなかでもムラサキケマンの少し渋みのある緑、そして一面に広がるかわいらしい草はなにかとみればヤエムグラ、柔らかそうに見えるが触ってみると少しザラツとする。確かにヤエムグラだ。別の場所ではカキドオシが葉を一杯広げていた。オドリコソウ、ホトケノザも少しだが咲いていた。陽ざしがないのでオオイヌノフグリは青い花びらを閉じている。そのそばにはタネツケバナの可憐な白い花が開いていた。種もみの準備をする時がきたよと知らせているのだろうか。



見た目は柔らかそうなヤエムグラ



ニワトコはすつとのびた枝に丸い葉目がポコポコとついている。あふれるような生命力を感じられる葉芽だ。コブシの芽も随分ふくらんで春を待っている。馬酔木（アセビ）の花は日当たりのよさそうな所ではすでに咲いていた。広場では紅梅は満開、白梅もかなり咲いてかすかに良い香りがした。

←生命力を感じられるニワトコの芽

空堀のそばにたつムクノキ、木肌がボロボロになっているが、よく見ると日当たりの良い方はボロボロに剥けているのに、日陰になる側はむけていない。この違いは日当たりによるのだろうか？曇った空を見ながらフト思った。

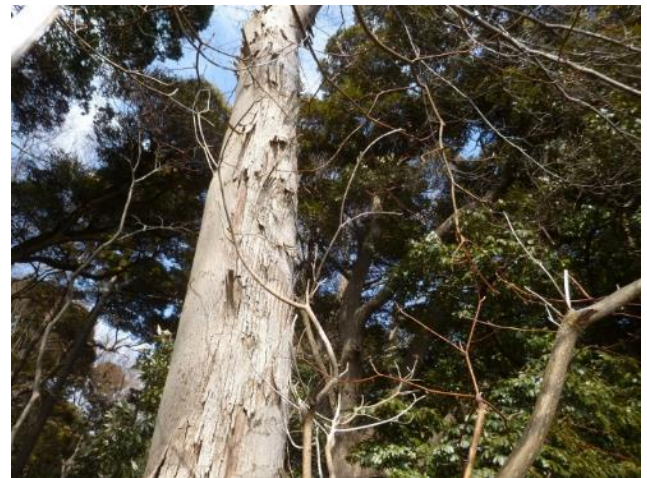
今日の根木内はまだ冬、少し春といったところでしょうか。陽ざしが弱いせい、何となく寂しい観察会だった。



コブシのふわふわの芽



紅白の梅



ムクノキの木肌がボロボロなのはなぜ？

3月の湿地の観察会は、、、

**3月24日（土）**

**9:30 駐車場集合**（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。お問い合わせは下記メールまでお願いします。

[akihitoaizawa@gmail.com](mailto:akihitoaizawa@gmail.com)（相澤）